政策３　みんなで取り組む快適なまちづくり

取組５　憩いの空間の創出

取組の評価　**2.8　一部に改善を要する**

＜ 取組5 の基本方針＞
1　公園愛護活動の促進
2　特性を活かしたうるおい空間の整備
3　身近に利活用できる公園の整備
4　花と緑のまちづくりの推進

【取組の目的】 みんなが憩える親しみのある、地域の特性を活かした特色ある空間を創出します。

『取組』に係る社会の動向・本市の現状（主な取組）

《社会の動向》
◎地球温暖化や生態系のバランスの変化など地球規模で問題の深刻化が指摘されている中、二酸化炭素の吸収源である緑の保全と創出、自然に恵まれた地域の特性を生かした個性あるまちづくりの転換や地域コミュニティに支えられたまちづくりが求められている。
また、「富士山」が世界遺産登録を果たしたように、これまで長い年月をかけて人々の生活に寄り添い、日本人の心、文化、生活を育んできた古来からの地域資源や景観に対する価値観は高まりを見せている。

《本市の現状》（主な取組）
◎環境問題と景観形成の意識の高まりや災害に強いまちづくりの一層の推進、余暇活動における自然とのふれあいのニーズの高まりなど、緑が持つ環境保全、レクリエーション、防災、景観形成といった様々な機能を十分に発揮させていくことが期待されている。
また、人工的に作られた公園施設については、将来的に発生する維持管理費用や、更新に要する費用負担が市の財政を圧迫することが懸念されており、早い段階から長期的な視点で計画的に対応することが求められている。
◎一方で、平成25年度には、湊地区において、江戸時代から地域に伝わる先人の知恵を現代に復活させる形で「平成の命山」が整備されたことにより、地域特性を活かした特色ある空間整備と安全対策の両面の充実が図られた。なお、命山については、平常時は公園として活用されている。

『取組指標』の分析と評価結果

番号	指標名	項目	H24		H25	
1	都市・農村・寄付公園、ｺﾐｭﾆﾃｨ広場等の市民一人当たりの面積【㎡】	目標値	29.5		29.7	
		実績値	28.6		30.2	
		達成率	96.9	伸び率 4.0	101.6	5.5
		評価	2		4	
2	公園愛護団体数【団体】	目標値	81		83	
		実績値	77		79	
		達成率	95.0	伸び率 2.6	95.1	2.5
		評価	2		2	
3	花いっぱいコンクール参加件数【件】	目標値	57		58	
		実績値	40		47	
		達成率	70.1	伸び率 ▲ 9.0	81.0	17.5
		評価	1		2	
4	河川愛護（リバーフレンドシップ）の協定締結団体数【団体】	目標値	19		20	
		実績値	26		43	
		達成率	136.8	伸び率 44.4	215.0	65.3
		評価	4		4	
		目標値				
		実績値				
		達成率		伸び率		
		評価				
		評価結果の平均値（A）			3.0	

『取組』の有効性・必要性・緊急性の評価結果

評価項目	H25	備考欄
有効性 4．想定どおりの成果 3．概ね想定どおりの成果 2．一定の成果 1．想定した成果なし	3	◎　公園や河川愛護活動事業、袋井市花の会運営事業、花工場運営事業など自治会や市民団体等との協働により事業推進することで、地域や市民、行政などみんなで憩い親しむ空間を大切に思い、管理していく機運が醸成されている。 ◎　地域ならではの自然、歴史、文化を活かした公園をはじめ、地域住民の憩いの場や災害時の避難場所として活用できる身近な公園（（仮）三川公園等）の整備が進められ、多種多様な憩いの空間が創出されている。
必要性 4．極めて高まっている 3．高まっている 2．一定程度高まっている 1．高まっていない	3	◎　公園等は、地域交流や市民の安らぎや憩いの場だけでなく、防災拠点や景観形成など多面的な機能を有しており、市民や地域の財産として、将来にわたり継承していく必要がある。愛護活動など市民等との協働事業、指定管理者制度の活用等により、適正に維持管理していくことが必要である。 ◎　平成22年度末時点で供用後30年以上経過した公園が20か所（11.6%）、10年後には63か所（36.4%）に増加し、今後、老朽化による事故等が懸念される。
緊急性 4．極めて高まっている 3．高まっている 2．一定程度高まっている 1．高まっていない	1	◎　公園等について、「袋井市緑の基本計画」等を基に計画的に整備が進められている。 ◎　公園施設の老朽化対策については、長寿命化計画に基づき、現在計画に入っていない公園も含め計画を見直し、計画的に維持更新を行っていく。
評価結果の平均値（C）	2.3	

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主要事業名	事業評価表の評価結果 有効性 4. 極めて有効 3. 有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	効率性 4. 極めて効率的 3. 効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	廃止の影響 4. 極めて影響あり 3. 影響あり 2. どちらでもない 1. なし又は代替手法あり
1	公園愛護活動事業	3	3	4
2	公園維持管理事業	3	3	4
3	公園施設長寿命化事業	3	3	3
4	公園芝生・樹木等管理委託事業	3	3	3
5	袋井駅前広場維持管理事業	3	3	3
6	愛野公園施設維持管理事業（指定管理）	3	3	3
7	月見の里公園施設維持管理事業（指定管理）	3	3	3
8	愛野駅南北自由通路・駅前広場維持管理事業	3	3	4
9	（仮称）三川公園整備事業	3	3	3
10	（仮称）春岡多目的広場整備事業	3	2	3
11	報徳の里　ふかみ草ガーデン整備事業	3	3	3
12	みつかわ夢の丘公園整備事業（公園部）	4	4	4
13	花工場運営事業	3	3	3
14	花咲くふくろい推進協議会運営事業	3	3	3
15	袋井市花の会運営費補助事業	3	3	3
16	花壇維持管理事業	3	3	3
17	ＪＲ袋井駅・愛野駅前花壇管理委託事業	3	3	3
18	街路樹愛護報償金事業	3	3	3
19	街路樹管理委託事業	3	3	3
20	生垣づくり補助事業	3	3	3
21	河川・海岸愛護事業	3	3	3
評価結果の平均値（B）	3.1	3.0	3.0	3.2

≪評価基準 ≫
4：達成率 ≧ 100%・前年比伸び率 ≧ 0%　3：達成率 ≧ 100%・前年比伸び率 ＜ 0%
2：達成率 ＜ 100%・前年比伸び率 ≧ 0%　1：達成率 ＜ 100%・前年比伸び率 ＜ 0%

≪指標に影響を与えた主な取組、要因 ≫
◎掛之上ほのぼの公園、寄付公園２ヶ所の移管により、都市・農村・寄付公園、ｺﾐｭﾆﾃｨ広場等の市民一人当たりの面積が増加した。また、河川愛護の協定締結団体数については、新規団体の参加により昨年より増加となった。

取組』の総合評価と今後の展開方向

取組の評価					
2.8	一部に改善を要する	各評価結果の平均値	取組指標の評価結果（A）	有効性等の評価結果（C）	主要事業の評価結果（B）
			3.0	2.3	3.1

≪ 評価基準 ≫
4 ～ 3.6：順調　3.5 ～ 3：概ね順調
2.9 ～ 2 ：一部に改善を要する　1.9 ～ 1 ：全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	公園愛護活動の促進	→	→	地域住民による公園愛護は、身近な生活環境をきめこまかく整えていく上でも、維持管理コストを最小限に抑える上でも有効であることから、引き続き地元自治会等に協力をいただくとともに、より愛護活動を継続しやすい方法を研究していく必要がある。
2	特性を活かしたうるおい空間の整備	→	→	当市特有の農の資源、川や里山などの自然資源や地域固有の歴史や文化を活かした憩いの空間（小さな公共空間）の創出を検討していく必要がある。
3	身近に利活用できる公園の整備	→	→	引き続き「袋井市緑の基本計画」に基づき、公園等の整備を進めるとともに、親しまれる施設となるよう住民等の意見を取り入れて整備していく必要がある。また、整備にあたっては将来的な維持管理にも配慮する必要がある。
4	花と緑のまちづくりの推進	→	→	市民や地域との協働による花工場運営事業や愛野メモリアルロードの花の植え替え事業、また、企業の敷地内緑化の推奨などにより、花や緑にあふれるまちづくりを継続して進めていく必要がある。

≪ 展開方向 ≫　拡充（順調）　拡充（改善必要）　継続推進　縮小